

THE 911 & PORSCHE MAGAZINE

No. 71

2013 SPRING

平成25年4月1日発行 第12巻 第2号 価格770円

Legend 伝説は、新たな伝説の予兆だった

PORSCHE Kremer

ボルシェ クレマー レーシングは新しい伝説を創り始めた

997GT3R 2013年バージョンに見る速い

991GT3CUP カップカーはどこまでいくんだろう

987をGT3でパワーアップする

ボルシェに似合うホイール/ブレーキパッド、タイヤの2013年動向

そこが知りたいプロジェクト

ABSとは何か? / PTVで足のセットが変わる? / 電気はプラスとマイナスで考える

ロールバー、ケージの装着を考え直す / 993,996の2速ギア抜けの理由と解消

アラタメ復活:エンジン、ミッションを復活&増強させるケーススタディ

紹介者がいるファクトリー&プロショップ

知っておきたい各モデルチェック、いままで表に出なかった弱点

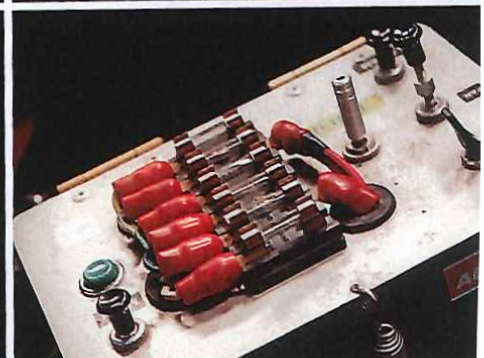
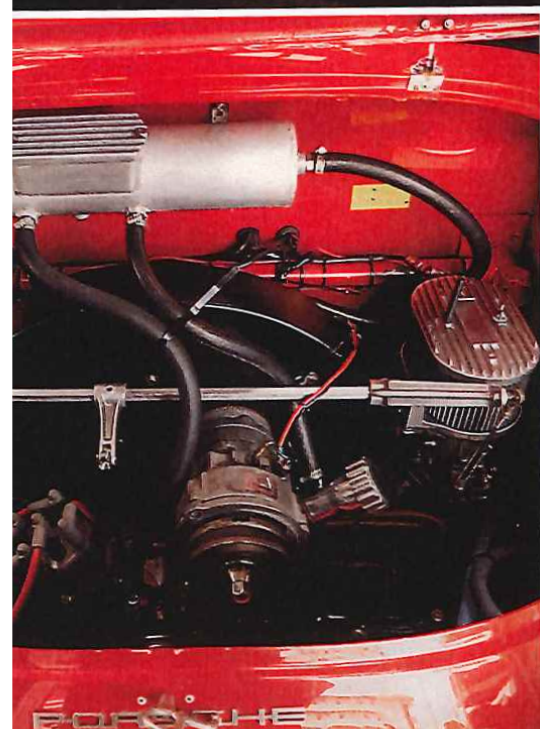
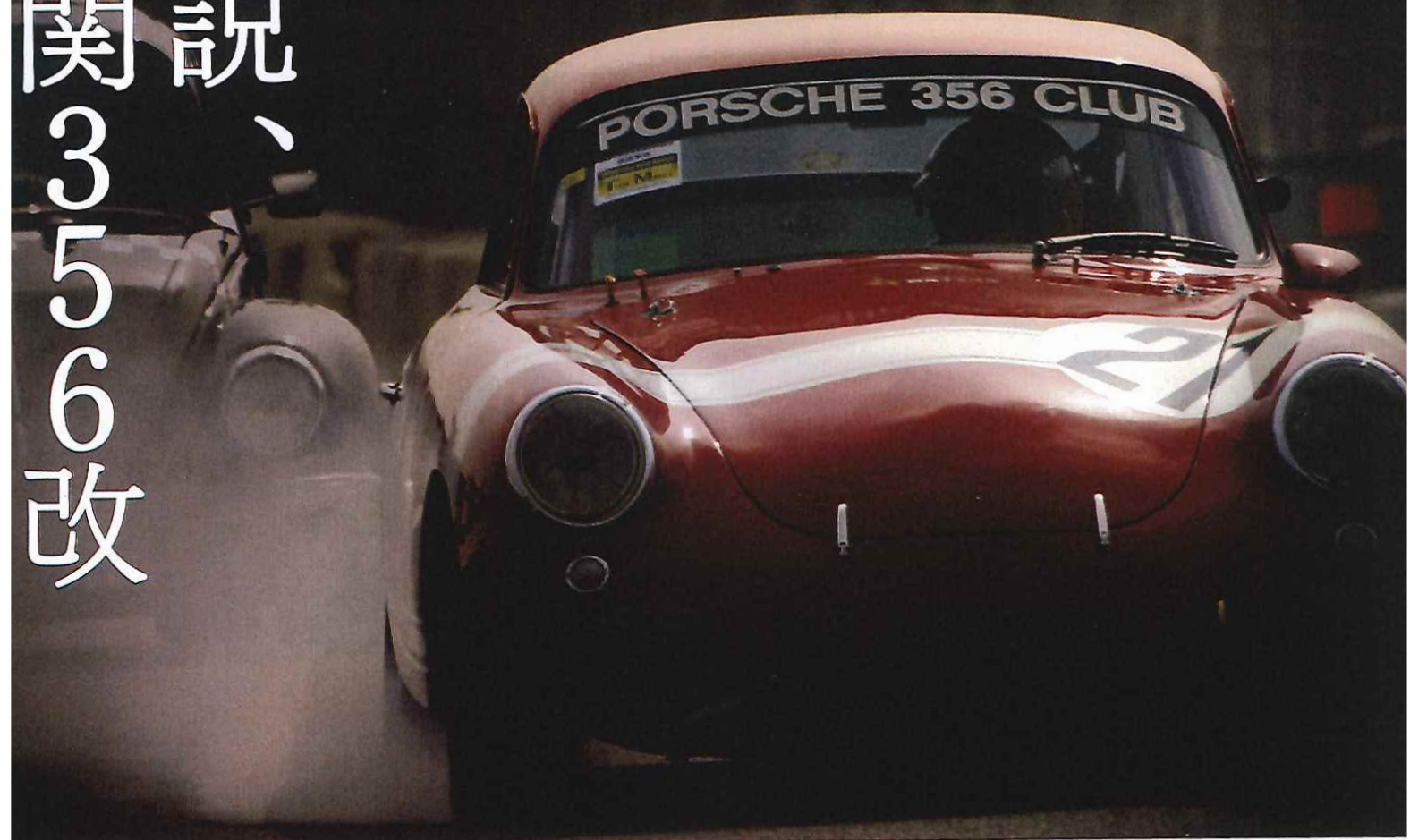
PORSCHE RS 550A

伝説は、
新たな伝説の
予兆だった。



www.911mag.jp

井関 伝説、 356改



写真：本誌

伝説は、新しい伝説を生み出す 原動力になった

本稿の最高齢が井関である。そのために井関が伝説になったわけではない。そんな失礼なことは思ってもいけない。1945年、井関が生まれた。356のプロトタイプが生まれたのが1948年、生産が終了したのが1965年となる。少年から青年へと進む中で、井関の中に染み付いたボルシェが356だった。当時、幅を利かせていた英国車とは比べ物にならないエンジンの強さ、ドアを始めとした構造の良さ、なにより、設計家の道を歩んでいた井関にとって、女体の下腹部を思わせるデザインに痺れたと言う。

しかし、このクルマを乗りこなすのは簡単ではない。サーキットなどもつてのほかだった。が、痺れてしまった井関を止めることができようか。よし、オレが乗りこなすんだと目標設定をするのも簡単ではなかった。

生沢選手や黒沢選手を見ていた中学生の頃からバイクに親しむほどのモータースポーツ志向が強かっ

こで、愛車を手放しクルマを封印せざるをえない状態となった。以来十数年の封印生活が続くのだ。そして、ビジネスが軌道に乗った80年代半ば、封印を解き、同時に抑えていた356への想いが吹き出すのである。1986年、ついに356を駆りヒストリックレースに参戦するのだ。

これ以上無い緊張感、いかにして冷静さを保ち続けられるのか、1コーナーの後悔を2コーナーに持って行かない。まさに人生そのものだと井関は語る。井関の愛車は、まさに人馬一体。共に人生を進む乗り手と馬なのだと思つた。

井関を遠くまで連れて行くマシンは、63年式SC。しかし、その骨格は48の生産開始から大きく変わっていない。その強靱なボディはチューニングエンジンや現代のハイグリップタイヤすらも許容するほどだ。したがって、356チューニングの最初のメンツドは軽量化と言ふことになる。

しかし、ノーマル状態で900kgしかない車重ゆえに800kgまでの減量が限界だとされる。車重以上に気を配りたいのが足まわりだ。ナロ

いよりホイールベースが短いために、アクセルワ

しまうのだ。この神経質な動きを抑えるために、フロントにSPAX、リアにKONIIのダンパーを装着、肝のパーツには912用を採用している。しかし、ダンパーに角度が付いているために正確な減衰が出てこない。構造的な変更を行いコイルオーバー化を行う例もあるが、井関にとっての356はこういうものであり、トーションバーとアロイホイールにはこだわり続けたいと語る。

パワーユニットに目を移そう。63年式SCに搭載されるエンジンは、616/6型。1582cc、最高出力と最大トルクは、95ps/5800rpm、12.6kgm/4200rpmとされている。このエンジンをキッチリ組み直す事で8000rpmまでの常用を可能とし、富士スピードウェイのストレートを最後まで加速し続ける。ギア比から計算すると5速/8000rpmで250kmに達する。この

セットは抑制されているVWのエンジンを解放したものとなる。つまり、バルタイを連らせ燃費と耐久性の向上を狙っている設定を適正値にすることこそ最大のチューニングなのだ。さらに、インタークバルブをφ40、エキゾースト側をφ36.5へと変更

はノーマルのコンロッドを使用していることだ。24時間レースなどの過酷な環境でもない限りキャレロコンロッドは不要だ。このエンジンにガスを送るキャブレターはウエバーのφ48。この大きなキャブレターでガバツと吸って、ドカンと回して行くのだ。

ここまですぐ伝説だ。井関は70歳オーバーまで現役を続けると宣言した。その決意を表すように、このマシンで911を抜き去ることが次のターゲットとなった。で、6発化を図るのだ。2.8リッター/φ46ウエバー6連スロットルで230ps。さらにエナペタルで12段調整タンパーを特注し、911撃墜体制を整えている。ここに、新しい伝説が始まるのである。

